

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-06

なし

(発行年 / Year)

1910

リテ而モ事實ト合スルモノトナフレ本條ハ此主義ニ基キテ本條ヲ設ケタルナリ
同條第二項ハ争ノ目的ヲフサル權利ノ供與ニ關スル規定ニシテ特ニ明白ヲ要セサルモノナレシ以テ
之ヲ削除シタリ

第三章 事務管理

(理由) 本章以下ハ契約以外ニ於ケル債權發生ノ原因ヲ規定スルモノニシテ殊ニ本章ハ既成法典ニ於
テ不當利得ニ關スル規定ノ一部トシテ單ニ財產編第三百六十一條及ヒ第三百六十二條ノ一節ニ規定
シタル事務管理ノ爲メニ特ニ設ケタル一章トス蓋シ既成法典ヲ事務管理ニ關スル規定ヲ不當利得ノ
下ニ掲ケタル理由ハ種々アリト雖モ主トシテ沿革上ノ理由ニ基クテモノノ如ク羅馬法ニ於テハ委任
ナクシテ他人ノ事務ニ干渉スルコトハ一ノ過失ナリトシ又第十八世紀ヨリ第十九世紀ノ始ニ於テ個
人主義カ盛ニ行ハレ自己ノ事務ハ各自之ヲ處置スヘク他人ノ事務ニ干渉スルハ一般ニ不法アリト認
メタルヨリ諸國ノ立法例ハ一時此主義ヲ採用シ埃本利民法ハ委任ノ部ニ於テ他人ノ事務ニ委任ナク
シテ干渉スルハ不法ナリトノ前提ヲ置キテ以下其結果ヲ規定シ普國國法モ亦之ト同ノ主義ヲ採用セ
リ然ルニ近世ニ至リ各人交通ノ狀況カ一變スルニ從ヒ民事上商事上其ニ或場合ニ於テハ委任ナキモ
他人ノ事務ヲ管理スルコトハ取リ上ノ便宜タルニ止ラス本人ニ取リテ有益ニシテ且必要ナルコトア
ルヲ覺リ法律上ノ通則トシテ事務管理ナルモノヲ認メ之ヲ以テ不法不當ト爲ササルニ至リシレ雖モ
一且他人ノ事務ニ干渉スル以上ハ必ス相當ノ責任ヲ負ハサルヘカラストシ遂ニ事務管理ハ債務ノ
立原因タルコトヲ認メ從テ近世諸國ノ法典ハ之ニ關スル規定ヲ不當利得ノ下ニ掲ケサルニ至リ然
ルニ既成法典ハ尙ホ舊來ヲ遵守シ起算者ハ羅馬法ノ原則ヲ採用セスト云フニ拘ハラス事務管理ニ關
スル事項ハ概シ不當利得ノ原因ニ依リテ證明レ得ヘシト即チ不正當ノ管理ヲ爲シ若クハ事務管理

二因リテ管理者カ自ラ利益ヲ收取シタル場合ノ如キハ此者ノ過失ニ歸セシムルコトヲ得ルモノナレハ事務管理ニ關スル規定ハ不當利得ノ下ニ編入スヘキモノト爲セリ然レドモ是レ尙ホ過當上ノ理由ニ拘泥スルモノニシテ今日ノ實際上ニ於テ事務管理ノ有益且必要ナルコトヲ充分ニ認メサルモノト云フヘク殊ニ既成法典ニ自ラ明言スル如ク事務管理ハ管理者ノ好意ニ基ツクモノナレハ此者ノ意思ハ他人ノ利益ヲ自己ニ收取セントスルニアラサレハ之ヲ以テ不當利得ノ下ニ編入スルハ事務管理ノ性質ニ牴觸スルモノニシテ理論上實際上共ニ正確ナル見解ト云フヘカラス若レ果シテ事務管理ヲ以テ不當利得ノ下ニ編入スヘキモノトセハ適當ニ管理ヲ遂行スヘキ義務ヲ生セシメテ利得返還ノ義務ヲ生セシムルノミト云ハサルヘカラス然レドモ事務管理ノ性質上管理者ハ第一ニ管理事務ヲ適當ニ管理セサルヘカラス義務ヲ負擔スヘキハ當然ニテ利得返還ノ義務ノ如キハ寧ロ第二ノ義務ト稱スヘキモノトス是レ即チ本案ハ事務管理ニ關シテ第二章ノ通則ヲ設ケ之ニ因リテ生スル法律關係ヲ規定スル所以ナリ

次ニ事務管理ヲ以テ監視ノ委任ト見做シ之ニ關スル規定ヲ委任ノ部ニ編入スル立法例アリ殊ニ急迫管理必要管理ノ場合ノ如キハ斯ノ如キ推定ヲ下スルモ或ハ不當ニ非サルヘシト雖モ何レノ場合ニ於テモ假令間接タリトモ合意ノ存在ヲ認ムルコト能ハサルモノモレハ右ノ立法例モ亦其當ヲ得タリト云フヘカラス其他事務管理ナル用語ハ固ヨリ法律上ノ意義ニ適中セルモノニアラス佛國民法ハ之ヲ流契約ト和蘭民法ハ之ヲ法律ヨリ生スル義務トシ獨逸民法草案ハ之ヲ無委任管理トスル如ク其用

第六百九十六條

例頗ル區キニレテ或ハ他人ノ事務ノ無權限管理トモ稱スヘキモノナリト雖モ本案ハ我國從來ノ慣例ニ因リ取テ其意義ヲ誤ルコトナカルヘキヲ信シ單ニ事務管理ト稱セタリ

(理由) 本條ハ事務管理ニ因リテ管理者カ負擔スヘキ本來ノ義務ヲ規定スルモノニシテ既成法典財產編第三百六十二條ハ佛蘭西國ノ立法主義ニ從ヒ利得返還及ヒ管理繼續ノ義務ヲ以テ事務管理ヨリ生スル第一ノ義務ト爲スト雖モ事務管理ニ關スル規定ヲ設クテ立法ノ本旨ニ依レシ此等ノ義務ノ寧ロ第二ノ義務トスルヘキコトハ既ニ說明セシ如クナレハ本案ハ瑞士債務法、整理巴威爾モンテネゴ等ノ民法及ヒ獨逸民法草案ニ於テ採用セシ近世ノ立法主義ニ從ヒ管理者ノ事務ノ性質ニ從ヒ最も本人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ管理ヲ爲スヘキヲ以テ事務管理ノ生スル本來ノ義務ト爲セリ又ニ管理ノ方法ニ關スル立法例モ亦頗ル區キニシテ或ハ之ニ委任ノ規定ヲ准用シ或ハ善良ナル管理又ハ眞家父ノ注意ヲ以テ其標準トシ若クハ本人自ラ之ヲ管理セハ必ス從フヘカリレ方法ニ依レテ決定ムルカ如シト雖モ要スルニ法律ハ或場合ニ於テ他人ノ事務ニ干渉スルコトハ此者ノ利益ヲ保護スルニ必要ナリト認メ之ヲ以テ一種ノ不法行為トシテ不當利得ノ規定ニ從ハシムルコトナク所謂事務管理トシテ之ヲ認許スルモノナレハ管理ノ方法モ亦此ノ立法ノ本旨ニ基ツキ管理ヲ行フテ本人ノ利益ニ最も適スヘキ方法ニ依ラシムルヲ以テ至當トス而シテ此方法ハ果シテ本人ノ利益ニ適スルヤ否ヤハ事務ノ性質ニ因リテ之ヲ定一般ニ適當ト認ムルニ足ルヲ以テ其標準ト爲スヘキナ

既成法典ハ他人ノ財産ニ侵害アリト見ユルトキ云キト規定スト雖モ聊チ救キニ失スル虞アルニ因リ
 本案ハ單ニ他人ノ爲メニ共事務ヲ管理レ得ルコトヲ認メ必ズレモ財産ニ直接ノ侵害アル場合ノミニ
 限ラテモコトヲ明ニセリ而シテ或場合ニ於テ事務管理ハ他人ノ爲メニ之ヲ爲スト同時ニ又自己ノ爲
 メニスルコトトスルモ敢テ妨ケサル所ニシテ唯單ニ自己ノ爲メニ他人ノ事務ヲ管理スルニ止マルト
 キハ固ヨリ本條ノ規定ニ從ハスレテ却テ不當利得ノ規定ニ依ルヘキモノトス然レトモ管理者カ全テ
 他人ノ爲メニ管理行為ヲ爲ス以上ハ本人ヲ知ルト否トハ敢テ問フ所ニ非キレバ管理者カ甲者ノ爲メ
 ニスル意思ヲ有スルモ其結果乙者ノ利益トナリタルトキト雖モ右管理行為ハ事務管理ニテ妨ケナ
 レ其他既成法典ハ事務管理ノ要件トシテ合意上又法律上又委任ノ委任ヲテテ全テ管理者ノ好
 意ヲ以テスルコトヲ揚タルハ固ヨリ當然ノ事ナリト雖モ既ニ本案ハ委任ノ意義ヲ限定シタルニ因リ
 本條ニ於テモ斯ノ如キ字句ヲ刪除シ要スルニ事務管理ハ或人カ義務ナクシテ他人ノ事務ヲ管理スル
 ニ存スルモノナレハ本案ハ單ニ此趣旨ヲ明白ナラシムルニ止マルリ

本條第二項ハ管理ノ方法ニ付キ本人ノ意思カ管理者ノ明白ナルカ又ハ之ヲ推知スルコトヲ得ル場合
 ニ於テハ第一項ニ規定スル所ノ管理ノ方法ニ依ラズシテ寧ロ本人ノ意思ニ從ヒ管理ヲ爲スヘキコト
 ノ規定レ事務管理ノ名義ヲ以テ濫リ他人ノ事務ニ干渉シ本人ノ欲セサルコトヲ行フコト勿カラレ
 ムルモノニシテ本人ノ意思ニ反スルモ尙ホ且ツ此者ニ利益ナリトシテ其事務ニ干渉スル如キハ事務

第六百九十七條

管理ノ立法ハ本旨ニ反シ寧ロ不當利得ノ規定ニ從ハシムヘキモノト云フヘシ故ニ他人ノ事務ヲ管理
 スル者ハ必ズ本人ノ意思ヲ重シテ若シ此意思ヲ知ルコト能ハサルレトキハ一般ニ本人ノ利益ニ適セ
 リト認ムヘキ方法ニ依リテ其事務ヲ管理スヘキナリ

(理由) 既成法典ハ管理者カ用ニヘキ注意ノ程度ニ付キ特ニ規定スル所ナキニ反シ本案ハ既ニ前條ニ
 於テ管理ノ方法ヲ指定レ之ニ依リテ管理者カ用ニヘキ注意ノ一般ノ程度ヲ示シタリト雖モ本條ニ於
 テハ更ニ特別ノ場合ニ於ケル注意ノ程度ヲ規定レ以テ實際ニ必要ト一般ノ條理ニ適セタリ蓋シ
 事務管理ニハ本人ニ取リテ有益ナルモノト必要ナルモノトノ區別アリ而シテ本條ニ示ス如キ本人ノ
 身體名譽又ハ財産ニ對スル急迫ナル危害ノ存スル場合ニ於テ之ヲ免カレシムルカ爲メニ共事務ヲ管
 理スル如キハ即チ必要管理アリハ此等ノ場合ニ於テ他人ノ事務ヲ管理シタル者ニ尙ホ一般ノ事務
 管理ノ同一ノ責任ヲ負ハシムルハ條理ニ反スルノモノナリ抑テ他人ノ危害ヲ知りテ之ヲ看過スル
 如キ弊害ヲ生セシムルコトナシトセズ故ニ二三ノ立法例ニ依リテ他人ノ急迫ナル危害ヲ知りテ自己
 ニ危險ナキニ拘ハラズ之ヲ救ハサルハ不法ノ所爲アリトシ又有力ナル學者ノ見解ニ依リテ強ヒテ
 場合ニ他人ノ危害ヲ看過スル者ハ之ヲ責罰スヘシト爲ス將アリ要スルニ法律ハ制裁ヲ附シテ強ヒテ
 他人ノ事務ヲ管理セシムヘキモノニアラスト雖モ本條ニ示ス如キ必要管理ノ場合ニ於テハ管理者ノ
 責任ヲ輕減スルコト固ヨリ至當ニシテ實際ニ極メテ必要ナリニ因リ本案ハ此趣旨ヲ明ニシテ右ノ場合

ニ於テ管理者ハ惡意又ハ重大ノ過失アルニ非サレハ管理ニ因リテ生レル損害ト雖モ之ヲ賠償スルコトヲ要セスト爲セリ

第六百九十八條

(理由) 本條モ亦事務管理ノ名義ヲ濫用シテ本人ノ利益ヲ害セシムコトヲ豫防スル趣旨ニ基テキ管理者ニ負ハレムルニ本人及ヒ其所存ヲ知レトキハ管理ヲ始メタルコトヲ遲滞ナク本人ニ通知スベキ義務ヲ以テセリ是レ或ハ管理者ニ不當ノ義務ヲ負ハレムルニ似タリト雖モ既ニ第六百九十六條ニ於テ管理者ハ本人ノ意思ヲ重シセサルヘカラスルコトヲ規定シタル以上ハ管理者ニシテ本人及ヒ其所存ヲ知レニ於テハ其管理ヲ始メタルコトヲ遲滞ナク本人ニ通知シ其意思ニ從フヘキハ當然ノ順序ナルヲミナラス苟モ好意上他人ノ事務ヲ管理スル以上ハ本人ニ通知スル手續ノ如キハ固ヨリ管理者ノ煩トセザル所ナルヘレ況ンセ本條ノ義務ヲ管理者ニ負擔セシムルコトハ管理ノ名義ヲ借りテ濫リシ他人ノ事務ニ干渉スル弊害ヲ豫防スル一方法タルニ於テハ本人ノ利益ヲ保護スル照ニ於テモ亦必要ノ規定タルニシテ然レトモ本人ニシテ既ニ管理者ヲ始メタルコトヲ知レトキハ更ニ之ヲ通知スル必要ナキヲ以テ本條但書ノ規定ニ依リテ此場合ヲ除外セリ

第六百九十九條

(理由) 本條ハ管理繼續ノ義務ヲ規定スルモノニシテ二三ノ立法例ニ依レハ本條ノ義務ハ事務管理ノ本來ノ義務トシテ管理者ヨリ本人ノ利益ニ適スル方法ニ依リテ管理セサルヘカラストノ適用ヨリ自ラ發生スルモノナレハ特ニ明文ヲ以テ規定スル必要ナレト認ムト雖モ木案第六百九十六條ハ單ニ事務管理ニ因リテ直接ニ發生スル第一ノ義務ヲ認メタルニ止マリ管理ヲ繼續シ又ハ之ヲ停止スルカ如キ第二ノ義務ハ右ノ適用ニ因リテ當然發生スト云フヘカラス故ニ本案ハ既成法典其他多數ノ立法例ニ倣フテ特ニ本條ノ規定ヲ設クト雖モ既成法典財產編第三百六十二條第二項ノ如ク本人又ハ其相續人カ管理ヲ爲スコトヲ得ルニ至ルマデノ場合ノモテ揚ケ法定代理人カ管理ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタル場合ヲ認メサルハ聊カ數キニ失スルモノミナラス既成法典ハ佛伊蘭諸國ノ立法主義ニ從ヒ觀合本人ノ意思ニ反シ又ハ本人ノ爲メニ不利ナルコトノ明白ナル場合ニ於テハ尙ホ且管理ヲ繼續セサルヘカラスルカ如キ絕對ノ規定ヲ設クルハ事務管理ノ本旨ニ通セサルニ因リ木案六即チ此點ニ修正ヲ加ヘ本條ノ本則ニ於テ法定代理人カ管理ヲ爲スコトヲ得ルニ至ル場合ヲ増補シ又但書ノ規定ニ因リテ本人ノ意思ニ反シ又ハ本人ニ不利ナルコトヲ知リテ管理ヲ繼續スルコト勿ララレタメリ

第七百條

(理由) 本條ハ事務管理ヨリ生スル直接訴訟權即チ本人カ管理者ニ對シテ請求スルコトヲ得ヘキ事項ヲ規定スルモノニシテ既成法典財產編第三百六十二條第一項ハ之ヲ以テ事務管理ヨリ生スル管理者ノ第一義務ト認ムルコトノ不當ナルハ既ニ說明セレ如クナルノミナラス聊カ缺點アルニ因リ木案ハ本人カ管理者ニ對シテ有スル請求權ニ付テ委任ニ關スル第六百四十四條乃至第六百四十六條ノ規定ヲ推用ストシ管理者ハ事務ヲ管理スルニ當リテ受取リタル金錢其他ノ物及ヒ其收取シタル果實ヲ本

人ニ交付シ又自己ノ名ヲ以テ取得シタル權利ハ之ヲ本人ニ移轉スルキハ勿論本人カ請求スルトキハ何時ニテモ管理ノ狀況ヲ報告レ或ハ本人ニ交付スルキ金額又ハ其利益ノ爲メニ用ユルキ金額ヲ自己ノ爲メニ消費シタルキハ其利息ヲ返却セ又ハ損害ヲ賠償セサルヘカラストス蓋シ管理者カ本人ニ對スル關係ト受任者カ委任者ニ對スル關係ト間ニ於テ本人又ハ委任者ノ請求權ニ付キ特ニ其規定ヲ異ニスルキ所ナケレハナリ

第七百二條

(理由) 本條ハ事務管理ヨリ生スル反對請求權即チ管理者カ本人ニ對シテ請求スルコトヲ得ルキ事項ヲ規定スルモノニシテ既成法典財產編第三百六十二條ニ聊カ修正ヲ加ヘリ即チ本條第一項ハ本人ノ爲メニ有益ナル費用ニ付キ管理者ノ償還請求權ヲ認ムルモノニシテ既成法典ノ如ク特ニ必要費ヲ掲ケサルノ必要費ハ有益中ノ最モ有益ナキモノナレハナリ又本條第二項モ既成法典ノ如ク管理者ハ本人ノ爲メニ負擔シタル有益ナル債務ノ免除又ハ之ニ對スル相當ノ擔保ヲ請求シ得ルコトヲ認ムルモノニシテ第三百四十九條第二項ノ規定ヲ適用シタルハ即チ受任者ヲ委任者ニ對シテ此者ノ爲メニ負擔シタル債務ニ付キ擔保ヲ請求スルコトヲ得ルト同視スルコトヲ得レハナリ

本條第三項ハ既成法典財產編第三百六十三條第二項ノ規定ニ該當シ管理者カ本人ノ意ニ反シテ管理ヲ爲シタル場合ヲ豫想スルモノニシテ斯ノ如キ行爲ハ事務管理ノ本旨ニ反スト雖モ實際上在キ發生スル事實ニシテ然モ本人ハ右ノ管理ニ因リテ利益ヲ收取スル場合少シトセス而シテ本人獨リ此利益

ヲ收取スルノミニ止マリ管理者ニ對シテ毫モ義務ヲ負擔セサル如キハ法律ノ認許スヘカラスル所ニシテ假令管理者カ本人ノ意ニ反シテ管理ヲ爲シタルモ本人ハ故ナク他人ノ行爲ニ因リテ利益ヲ收取スルキモノニ非ズ只此場合ニ於テ本人ヲシテ一旦自己ノ爲メニ生ズル利益ハ現存スルトト告トニ拘ハラズ總テ之ニ對シテ義務ヲ負擔セシムルハ固ヨリ不當ニシテ其理由ナキニ因リ本條ハ現存本人ノ爲メニ存在スル利益ヲ限度トシテ此者ニ義務ヲ負擔セシムルモノニシテ既成法典ト同一ノ趣旨ニ基クテモノナリト雖モ既成法典ノ如ク出訴ノ日ニ存在スル費用又ハ約務云々ト規定スルトキハ出訴セサル場合ニ對シ其標準ヲ示スニ足ラサキニ因リ本條ハ即チ本人ノ爲メニ現存スル利益ノ限度ニ於テノ前二項ノ規定ヲ適用スト改メテリ而シテ本項ノ規定ハ寧ロ不利益ノ下ヲ掲グルヲ以テ至當ト爲スニ拘ハラズ特ニ本條ニ規定シタル所以ハ本項ノ場合ニ於テモ亦前二項ノ規定ヲ適用セシメントフ欲シタレハナリ